

こくたか 連携だより

2021年発行
第179号
12月号

第20回地域連携症例検討会 2
整形外科部長 大澤 敏久

診療科紹介
消化器内科 3
消化器内科部長 長沼 篤

50期生「決意式」を終えて 4
50期生 湯澤 利奈

レジデントグランプリ受賞 5
初期臨床研修医2年目 竹部 兼輔

緩和ケアニュース 6
栄養だより 7
臨床検査科だより 8
ほっとサロン(患者図書室)のご紹介 9
医師紹介コーナー 10
地域医療連携登録医のご紹介 11
セカンドオピニオンのご案内 12~13
外来診療担当表 14~15
院長閑話/行事などのお知らせ 16

シンビジウム
(12月~4月)

.. 花言葉 ..

「飾らない心」「素朴」
「高貴な美人」「華やかな恋」

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>
地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

第20回 地域連携症例検討会

整形外科領域疾患の診断と治療の連携



整形外科部長
大澤 敏久



「第20回地域連携症例検討会」を2021年10月14日（木）19時～20時30分に高崎総合医療センター2階大会議室にて開催いたしました。症例検討会はコロナ禍のために、第20回がしばらくぶりの開催となりました。また会場とZOOMによる初のハイブリッドの開催となりましたので、大変不慣れな開催となったことを先にお詫びいたします。

今回は整形外科から、当科にご紹介いただいた症例の治療法、特に手術治療を主にご報告させていただきました。

齋藤健一整形外科医長より、専門分野である膝関節疾患から「当院にご紹介いただいた膝関節症例の検討」と題して、半月板損傷や膝関節内骨折の手術症例や後療法および人工膝関節置換術について発表させていただきました。痛かった膝が人工関節で痛みなくスイスイ歩けるようになった症例を提示いたしました。

一ノ瀬剛整形外科医師からは、専門分野である肩関節疾患から「当院で行っている肩関節疾患・肩周辺骨折治療」と題して、肩鎖関節脱臼や反復性肩関節脱臼の手術治療法や高齢者社会で多くなっている上腕骨近位端骨折の骨折観血的治療方法を紹介させていただきました。また近年行われるようになった人工肩関節置換術で、上がらなかった肩が、上がるようになった症例を提示いたしました。

信太晃祐整形外科医長からは、専門分野である脊椎疾患から「びまん性特発性骨増殖症（DISH）を伴う脊椎外傷」と題して、高齢者の脊椎に発症する骨増殖症を紹介し、脊椎増殖症で脊椎の可動性が傷害されると、ちょっとした外力で脊椎の骨折やひどい症例では脊髄損傷（麻痺）が発症するという怖いような症例を紹介させていただきました。

最後にたくさんの地域連携の先生方および病院関係者のご尽力により、検討会が無事に行われたことに感謝いたします。また会場内では当院研修医の先生方や職員の方々またZOOMでご参加いただいた先生方もご苦労様でした。

今後もいろいろな症例をご紹介いただき、一生懸命治療にあたりたいと考えております。これからもよろしくお願いいたします。

消化器内科の紹介

消化器内科部長 長沼 篤

当院では2012年4月に消化器病センターが設立され、消化器内科と消化器外科の連携を密にした専門性の高い診療を行っています。当科は現在常勤医10名と内科専攻医2名が所属しており、肝胆膵及び消化管グループに分かれて活動しています。当院は高崎・安中地域43万人をカバーする医療圏において唯一の基幹病院（DPCIⅡ群病院）であり、24時間体制で高度救急医療を提供しております。当科ではオンコール体制を構築しており、休日・夜間においても上下部消化管出血、胆道感染症、閉塞性黄疸、イレウスなどの急性疾患に迅速な対応が可能です。地域がん診療連携拠点病院にも指定されており、高度ながん治療も提供しています。

当科では食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肝臓、胆道系、膵臓疾患等の全ての消化器疾患に対する診断・治療が可能です。毎週月曜日には消化管内視鏡カンファレンスを行っており、診断に苦慮する患者さんの検討や若手医師の指導を行っています。毎週水曜日には消化器病センターのカンファレンス（消化器がんセンターボード）を実施しており、検査データ、CT、MRIなどを複数の医師で確認しつつ、エビデンスやガイドラインに基づいて治療方針を決定します。手術適応や治療について内科と外科で意見交換することで医療の質を担保すると共に、若手医師にとっては良い学習の場となっています。毎週金曜日にはグループ別カンファレンスを行っており、全入院患者さんについて各グループで情報を共有し、治療方針の決定や見直しを行っています。

また当院では、栄養サポートチームや緩和ケアチーム等のチーム医療を積極的に展開しており、当科においても多職種と連携して患者さんの立場に寄り添った心のこもった質の高い医療の提供を心掛けています。

消化器内科スタッフは、日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本胆道学会等の専門医・指導医の資格を有しており、当院はこれら消化器関連学会の認定・指導施設となっています。常に最先端医療を提供できるよう研鑽しており、研究会や学会への参加、症例報告、医学論文作成を積極的に行っています。また昨年10月には柿崎暁臨床研究部長が赴任し、当科では臨床研究及び治験にも力を注いでおり、新しい治療法の開発にも取り組んでいます。

以上、当科の紹介をさせていただきました。今後とも皆様のお力添えをいただけましたら幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。



50期生「決意式」 を終えて

同窓会より頂いたコサージュを胸に

50期生 湯澤 利奈

2021年10月29日、私たち50期生は「決意式」を行いました。新型コロナウイルスの感染が拡大している中、無事に決意式を実行できたことは、多くの方の支えがあったからです。心から感謝しています。決意式の目的は、看護の道を志す者としてこれまで学び考えた看護を見つめなおし、改めて自分の大切にしたい看護は何かを明確にすることです。今回の決意式も昨年同様、1部と2部に分けて行いました。

1部ではオルゴールの清らかな音色の中で聖歌継承を行い、一人ひとりろうそくに灯をともしました。一つひとつは小さい灯ですが、80個の灯が集まると幻想的な力強い「光」となり、これからの看護の道が明るく照らされたと感じました。そして誓いの言葉として、患者さんの思いを受け止め強みを生かした個別性のある看護を行うこと、患者さんに必要な援助を安全で安楽に提供するために確かな知識と技術を身につけること、患者さんの命を預かるものとして責任と自覚を持つことを誓いの言葉として唱和しました。練習では全員で揃って唱和することが難しく苦戦しましたが、決意式当日はしっかりと揃い、全員の心が一つになったと感じることができました。また、新型コロナウイルス拡大の影響で授業や病院実習が難しい状況となったことから、改めて看護を学べることに感謝しなければならないと感じました。

2部では「私たちの大切にしたい看護」というテーマで、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱで学んだ自分の看護観をまとめ、1・3年生の前で発表しました。まとめて発表することは大変でしたが、それぞれが自分の看護観を見直す良い機会となりました。1年生にはこれから実習で学ぶ看護を伝えることができ、3年生の先輩からは、3年間の実習での経験を通して様々な意見をいただき、これから本格的な実習に臨む私たちのさらなる学びとなりました。

今回の決意式を通して、誓いの言葉で唱和したような看護師になることを決意し、学習意欲がさらに向上したと考えます。このような状況の中、決意式ができたことに感謝しこれからの実習で多くのことを学んでいきたいと思います。



レジデントグランプリ 受賞

初期臨床研修医2年目 竹部 兼輔

はじめまして。高崎総合医療センター初期臨床研修医2年目の竹部兼輔です。この度、ぐんまレジデントグランプリにてグランプリを受賞しましたのでご挨拶の機会を頂きました。

早いもので研修医としての生活も残すところ3か月となりました。初めて社会に出た2020年4月、救急外来でファーストタッチを任せられ何もできず無力さを痛感した日もまだまだ記憶に新しいです。2年目になって後輩もでき、救急外来では頼りにされるシーンも出てくるようになりました。とはいえ医療は広くて深くて複雑なもので、今でも無力さを痛感する日々です。研修生活を経て本当に成長できているのか不安になります。それでもやはり、苦しんでいた患者さんが元気になって帰る姿を見たり、「お世話になりました、ありがとう」と言われたりと喜びも多く、医者になれて良かったなと実感しています。

今回レジデントグランプリの発表を任された当初、正直大変な仕事を任されてしまったと思っていました。しかし改めて考えると自身の研修を振り返る意味でとても有意義なものでした。当院が3次救急病院ということもあって、これまで非常に多彩な、非常に勉強になる症例を経験してきたことを実感しました。今回発表した症例はその中でも特に勉強になり、特に怖かった症例です。

本症例は左片麻痺を主訴に来院し、実際診察しても左片麻痺を認めました。ダメレジだった私は脳梗塞しか頭にありませんでしたが、CTで大動脈解離の診断となりました。症例について詳しくは発表内容をご覧くださいと思います。もし自分が研修医じゃない年次で本症例に出会っていたら、実は大動脈解離なのにrt-PAを投与していたら、と考えると本当に恐ろしいです。こういった経験を上級医のいる安全な環境で得られることこそ研修医の宝だと私は思います。3次救急である当院だからこそ得られた貴重な経験でした。

医師として働くようになって、国家試験のための勉強と実臨床は全然違うことだと強く実感します。まだまだ私も超未熟ですが、これから医師になる後輩たちにも是非当院でたくさんの症例を経験してほしいです。学生の皆様、見学をお待ちしています。

最後になりますが、普段よりご紹介くださる地域の先生方、研修医に熱く指導してくださる指導医の先生方、温かく見守ってくださる患者さんたち、頼りになる研修同期と後輩たちに感謝申し上げます。この度はグランプリという栄えある賞を頂きありがとうございました。



緩和ケアニュース

～がん治療と栄養の関係～

がんの患者さんの栄養状態が低下すると、抗がん治療（放射線療法、手術療法、薬物療法）の副作用や合併症が起きやすいといったデメリットがあり、治療前～治療中は積極的な栄養療法が推奨されています。

食事が減っている場合は、効率的にエネルギーとたんぱく質を確保する手段として、栄養剤の活用も有効です。栄養剤はドラッグストアなどでの購入も可能ですが、医薬品として処方できる製品もあります。

市販のもの（食品）

メリット

- ・味や製品などの種類が豊富
- ・ドラッグストアや通販で購入が可能

デメリット

- ・価格が高いものが多い（200円程度/個）

医薬品

メリット

- ・価格が安い（保険適応となるため）

デメリット

- ・味や製品などの種類が限られる
- ・処方箋がないと入手できない



ドリンクタイプのものでそのまま飲みづらい場合は、おやつや料理作りにも活用できます。

●野菜たっぷりお焼き

小麦粉 100g、しょうゆ 小さじ1/2、マヨネーズ 大さじ2、栄養調整食品 コーンスープ味 125ml、野菜（キャベツ・にんじん・じゃが芋 合計250g）を刻んで電子レンジでやわらかく加熱しよく混ぜる。

フライパンで焼いて、お好みのソースとマヨネーズ、青のりをかけて

●みかんスムージー

果物（生や缶詰） 100g、栄養調整食品 お好みの味で 125ml（凍らせる）、ミキサーでよく混ぜる。

出典：明治 低栄養の予防と改善のために

がんの患者さんにとって、栄養状態を維持・改善することは非常に重要です。自分の体や口に合う栄養補助食品がわからない、おすすめのものを知りたい、または治療等の影響で食欲が落ちた、体重が落ちているなど困ったことがあれば、栄養士にご相談ください。

※栄養指導は主治医の処方のもと実施しています。希望がある場合は、主治医へまず相談してみましよう。



栄養だより



2021年も残すところわずかとなりました。

年末に向けて、忙しい日々の体調管理はいかがでしょう。

今年12月22日は冬至です。

冬至は1年のうちで昼の時間が一番短い日であり、翌日から徐々に昼の時間が延びていくため太陽の力が強まると言われています。このことから、冬至の風習はそれまでの陰に向かう気から、陽に向けて運気を上昇させる願いが込められています。

冬至の七種ななくさ

冬至の日には、「ん」が付くものを食べることで運気が上がると言われています。

特に、「ん」が2個以上付くものは縁起の良い物とされ、「冬至の七種（ななくさ）」として知られています。

南瓜（なんきん）、蓮根（れんこん）、人参（にんじん）、銀杏（ぎんなん）、金柑（きんかん）、寒天（かんてん）、饅頭（うんどん（うどん））の7つです。

食べ物に関する風習は、縁起が良い食べ物だからという理由だけでなく、寒い冬を乗り越えるための知恵が込められています。



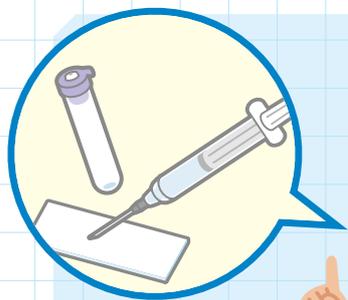
ゆず湯



また、冬至と言えばゆず湯に入る方も多いのではないのでしょうか。ゆず湯に入ると1年中風邪をひかず元気でいられると言われ、ゆずのように香りの強い物には汚れたものを洗い流す力があるとされています。さらに、災いも洗い流してくれると信じられ、無病息災の意味も込められています。

寒い冬も栄養をつけ、元気に乗り越えていきましょう。

参照：「ちそう chisou-media.jp」



今回と次回の2回に分けて細胞診の検体採取方法について説明します。細胞診検査は細胞の形態・構造、染色性などを顕微鏡で観察しますので、採取した検体は新鮮な状態を保つよう速やかに固定処理を行います。検体を放置すると細胞の変性が進み診断が困難になります。固定処理には95%エタノールが用いられ、スライドガラスに検体を塗抹後、エタノール中に浸水固定します。検査材料の種類により、採取直後にその場で固定する材料や、採取後に病理検査室で固定する材料があります。

◆材料別の処理方法と病理検査室への提出方法

▶甲状腺、乳腺などの穿刺吸引検体（スライドガラスに直接塗抹）

甲状腺、乳腺などは穿刺針を用いて、病変部分に針を刺しシリンジで細胞を吸引します。針の中の吸引した細胞をスライドガラスに吹き付けて塗抹します。塗抹後は直ちにエタノールに入れる必要があります。乾燥すると細胞が変性し評価困難になります。

▶髄液、胆汁、唾液（ただちに処理が必要）

髄液は、その液体中のタンパク質の量が少ないため細胞が壊れやすく、胆汁や唾液といった検体は、採取したときに消化液が混入するため消化酵素により細胞が壊れやすくなります。これらの検体は、採取後は直ちにスピッツにいれ「氷水」に浸けた状態で速やかに検査室に提出する必要があります。



▶各種洗浄液

細胞が生理食塩水に入っているため乾燥はしませんが、固定されるわけではないので、時間の経過と共に細胞は膨化して観察が困難となります。そのため速やかに検体を提出してもらうことが必要です。

※洗浄液とは：穿刺した針や採取のブラシ等を生理食塩水で洗った検体のことです。胸腔や腹腔を洗った検体も含まれます。

▶尿

時間の経過と共に尿中に細菌が繁殖します。また、洗浄液と同様な変化が起こりますので尿の場合も、すみやかに検体を提出してもらうことが必要です。早朝尿は膀胱に長時間貯留していた細胞が変性しているため随時尿を提出してもらうことが望ましいです。



次回も細胞診の標本作製について説明します。

ほっとサロン(患者図書室) のご紹介

患者サポートセンター
医療社会事業専門職 佐藤 拓海

2021年11月1日より、ほっとサロン（患者図書室）をオープンいたしました。患者さん・ご家族が病気や治療などの情報を知り理解を深めていただくことで、少しでも不安が解消し、安心して医療が受けられることを願い、開設する運びとなりました。利用される方にとって「ほっと一息つける憩いの空間」となれるよう思いを込めて、患者図書室の名称を「ほっとサロン」としました。

所蔵している図書は、医療の専門書（病気や治療に関する本、薬や栄養に関する本など）や一般書籍（小説やエッセイ、児童書など）約800冊を自由にご覧いただくことができ、外来患者さん、入院中の患者さん・ご家族へ図書の貸し出しも行っております。病気や治療に関するパンフレッ

トや小冊子なども設置しており、ご自由にお持ち帰りいただけます。医療情報サイトにアクセスできるパソコンコーナーもございますので、医療に関する情報の検索などご利用ください。

また、がんサロン「ほっとさろんたかさき」（現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としております）を、今後は患者図書室で開催できるよう検討しております。患者さん、ご家族、お付き添いの方、地域の方、どなたでもお気軽にご利用ください。

今後も充実した患者図書室の運営に努めてまいります。「ほっとサロン」をよろしくお願いたします。

ほっとサロン～患者図書室～ 開室時間

開室日：平日 10時～15時
休室日：土日祝日、年末年始

図書の貸出について

- 貸出対象者
外来患者さん、入院中の患者さん・ご家族とさせていただきます。
- 貸出冊数：ひとり2冊
- 貸出期間：外来患者さん（当日ご返却ください）
入院中の患者さん・ご家族（退院時にご返却ください。）
- 貸出方法
受付にある貸出カードにご記入ください。
- 返却方法
図書室前にある返却ボックスに入れてください。



医師紹介 コーナー

当センターの
医師を
紹介します!



こんにちは。今年度より赴任した整形外科医師の遠藤史隆と申します。出身は藤岡市で、高校は高崎高校に進学し、当院目の前の和田橋を毎日自転車で渡っていました。県外の大学に進学しましたが、卒業後は群馬県に戻って地元の医療に貢献させていただいております。当院には2016年度に一度勤務したことがあり、2度目の勤務となります。以前勤務していた時と違うところは、新棟が完成して手術室も拡大され、整形外科医の人数も増えたため、手術件数も増えたところです。高崎市における3次救急を担う病院として、整形外科では外傷患者さんの治療も行い、加齢による変性疾患の患者さんの治療も行っています。地域の中核病院に勤務する身として頑張っておりまして、どうぞよろしくお願いいたします。



● 整形外科

えんどう ふみたか
遠藤 史隆

初めまして、令和3年4月1日より高崎総合医療センター外科で勤務することになりました成澤英司と申します。

高崎市で生まれ、小学校卒業までは高崎市で過ごしました。幼い頃からサッカーを始め、小学生の頃は、病院から見える和田橋の下でボールを追いかけていました。少年たちが和田橋下でサッカーしているのを見て、とても懐かしく思います。大学までサッカーをしていましたが、卒業してから運動は一切していないので、最近何かしら始めないとな。と思っています。

外科に関しては、主にお腹に関する外科的な治療を行っています。4月から勤務し、早くも半年が経過しました。当院は予定手術や外来に加え、救急患者も多く搬送されますので忙しい日々ではありますが、充実した毎日を過ごさせていただいております。高崎地域のため、地域の先生方とも連携し、患者さんと信頼関係を築いて最善の医療が提供できる様に努力していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



● 外科

なるさわ えいじ
成澤 英司

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

大竹外科胃腸科

院長あいさつ

開院は昭和58年6月ですので、既に30年以上が経過しております。

これからも医師としての「誇り」を持って、患者さんの為になる医療をして行きたいと考えております。



大竹外科胃腸科
院長

大竹 雄二



診療科・病院案内

外科・胃腸科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	△
13:00~18:00	●	●	△	●	●	△	△

群馬県富岡市田篠947 TEL:0274-64-0808

標榜が「外科・胃腸科」なので胃腸疾患の患者さんが多いのですが、最近は高血圧や糖尿病などのいわゆる生活習慣病の患者さんも沢山来られます。診断から治療までなるべく自院にて完了できるようにと念じて治療を行っておりますが、一人では無理な事態が必ず発生します。その際には患者さんにとって最良の手立てを講じたいと考えています。

石川胃腸科医院

院長あいさつ

当院では、「気軽に相談できる」、「分かりやすさ」を心がけ、安心して無理のない治療をご提供致します。



石川胃腸科医院
院長

石川 昌



診療科・病院案内

胃腸科・肛門科・外科・内科・皮膚科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:00	●	●	●	●	●	●	△
15:00~18:00	●	●	●	●	●	●	△

群馬県富岡市富岡77 TEL:0274-62-1002

おなかの具合が悪い方だけではなく、風邪の症状や高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の予防と治療、様々な病気の早期発見・早期治療をし、必要があれば近隣の基幹病院と連携を行い症状、病態に応じて御紹介致します。「地域のかかりつけ医」として地域医療に貢献してまいりますので、よろしくお願いいたします。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	小川 哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木
	坂元 一郎	消化器外科全般	水
乳 腺・内 分 泌 外 科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金（午前）
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳 神 経 外 科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 加藤 昭彦 <small>予約のみ 午前</small>	奥野 彩花 (真下 大和) <small>午前 予約のみ</small>	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) <small>午後・予約専門外来</small>	佐藤 正通 加藤 昭彦 <small>午前</small>
栄養食事指導外来		佐藤 正通 <small>午後</small>			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	須江 麻衣 (植原 正也) <small>午前</small>	須江 麻衣 伊藤 大貴 <small>午前</small>	渋沢 信行 <small>午後</small>	渋沢 信行 伊藤 大貴 <small>午前</small>
神経内科	(池田 雅美)	平柳 公利	菊池 雄太郎	丸山 琴音 (古田 夏海) <small>午前 午後・新患外来</small>	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 若松 郁生 <small>午前</small>	細野 達也 内田 患 <small>午前</small>	増淵 裕朗 田口 浩平 <small>午前</small>	中川 純一 増淵 裕朗	細野 達也 内田 患 <small>午前</small>
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 都丸 翔太 (石原 弘) <small>午前 午後</small>	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 都丸 翔太 <small>午前</small>	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 成清 弘明 (石原 弘) <small>午前 午後</small>	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 (工藤 智洋) <small>午前 午後・第3週以外</small>	星野 崇 佐野 希望 田村 優樹 (岡野 祐大) <small>午前 午後</small>
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 岡野	安岡 / 増田	上原 / 佐野	上原 / 佐野 / 都丸	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 村田 智行 大駒 直也 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来 第1, 3週午前</small>	小林 洋明 高橋 伸弥 (金澤 紀雄) <small>午前 再来</small>	広井 知歳 太田 昌樹 羽鳥 直樹 <small>午前 午後：不整脈外来</small>	福田 延昭 柴田 悟 (金澤 紀雄) <small>午前 再来</small>	小林 紘生 太田 昌樹 久野 貴弘 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来 第2, 4週午後：ペースメーカー外来</small>
新患外来(午前)	高橋 伸弥	久野 貴弘	村田 智行	羽鳥 直樹	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒雄 内田 亨 木村 有希 <small>午前 午後</small>	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 諸田 潤一郎 (神尾 綾乃) <small>午後 第1, 2, 5週のみ 第4週午後</small>	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 (滝沢 琢己) <small>午後 第2, 4週午後</small>	倉田 加奈子 西澤 拓哉 田端 洋太 (岩脇 史郎) <small>午前 午後</small>	五十嵐 恒雄 佐藤 幸一郎
小児外科		(西明・高澤慎也) <small>第4週午後</small>	(西明・高澤慎也) <small>第1週午後</small>		
外科 (消化器)	坂元 一郎 田中 成岳 <small>午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 午前：通常 / 午後：食道専門外来</small>	小川 哲史 成澤 英司	田中 寛 岡田 幸士 <small>午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来</small>	小川 哲史 平井 圭太郎 小川 哲史 小川 哲史 <small>午前 午後 小川 祐介(栄養士)</small>	宮前 洋平 星野 万里江 <small>午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来</small>
栄養サポート外来				小川 哲史	
禁煙外来				小川 哲史	
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	第1, 3, 5週午後・予約	

1 外来診療受付時間

8:30 ~ 11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでのお薬をご持参ください。

2 休診日 土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

()の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴	栗原聰太	(青木雅典) 午前	井上雅晴	栗原聰太
疼痛緩和内科	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前	鯉淵幸生	鯉淵幸生	(荻野美里) 第2,4週午後	高他大輔 午前
	徳田尚子 午前	高他大輔 午前	高他大輔	(中澤祐子) 第1,3,5週午後	徳田尚子 第1,3,5週午前
	成澤瑛理子 午前	徳田尚子 午後	徳田尚子	交代制 午前・予約	成澤瑛理子 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅	大澤敏久	荒毅	新井厚	大澤敏久
	信太晃祐	齋藤健一	信太晃祐	遠藤史隆	齋藤健一
	遠藤史隆	書上韻	一ノ瀬剛 書上韻	<手術日>	一ノ瀬剛
形成外科	<手術日>	中村英玄	中村英玄	中村英玄	交代制
脳神経外科	田中志岳	栗原秀行	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴) 紹介・予約			(内山明彦) 紹介・予約
産婦人科	伊藤郁朗	青木宏	大枝涼平 午前	(金井眞理) 午前	伊藤郁朗
	永井あや	黒住未央	(小林梓) 午前	交代制 午前	青木宏
	黒住未央	井上拓哉			永井あや
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌
	岡宮智史				岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約
	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介 紹介・予約
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	薬師寺孝 紹介・予約	薬師寺孝 紹介・予約	<手術日>
	新患外来 薬師寺孝 紹介・予約		前山恵里 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約	前山恵里 紹介・予約
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約
	木村将典 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約	木村将典 紹介・予約	木村将典 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約
	倉持真理子 紹介・予約	(荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約		

(令和3年12月1日現在)

3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

ゴッホ展、行きましたか

院長閑話

vol.9



病院長 小川 哲史

新型コロナウイルスの新規発生が減少し一息ついているところに、新たな変異株オミクロン株が出現しました。現在、オミクロン株の感染力や重症化リスクなどの詳細は明らかではありませんが、ワクチン接種を含め、しばらくはこれまでと同等以上の感染対策が必要なようです。当院でも12月3日から職員に対する3回目のワクチン接種が始まりました。

さて、先日、東京都美術館で開催されているゴッホ展を観に行ってきました。今回の展覧会の見どころは、ヘレーネのコレクションから糸杉の傑作である「夜のプロヴァンスの田舎道」、「種まく人」など初期から晩年までの48点に加え、「黄色い家」など有名な作品が体系的に展示されていることです。

ゴッホの生涯を紹介します。ゴッホは、1853年、オランダ南部の牧師の家に生まれ、画商、教師、聖職者などを志したが頓挫し、25歳ころから画家を目指しました。画商である実弟のテオの援助を受けながら画作を続け、画家として活躍した時期から次の4つ、①印象派の画家たちと交友を持った「パリ時代」、②日本を夢見ながら南仏の自然の中で精神的にも落ち着いていた「アルル時代」、③“耳切り事件”の後、精神療養所入院しながら絵を描き続けた「サン＝レミ時代」、④療養所を退所してパリ近郊のオーヴェルに移ってから37歳で死に至るまでの「オーヴェル時代」、に分けられます。その年代ごとの精神状態を反映した特徴のある作品が多数ありますが、生前に売れた絵は1枚のみと言われていて、彼の死後に開催された回顧展などを通じて急速に作品の評価が高まりました。約10年の活動期間に、油絵は860点、水彩画150点、素描などを合わせると、なんと2,100点以上の作品があります。有名な作品の多くは「アルル時代」以降の数時間に描かれた油絵で、多数の自画像のほか、身近な人々の肖像画、花や自室内の静物画、風景画などがあります。また、彼の生涯は多くの伝記や小説、映画など映像作品としても描かれ、テオや友人らと交わした多くの手紙が書簡集として出版されています。

ゴッホは、その壮絶な人生と、絵画に対する情熱から「炎の画家」と言われ、日本で最も人気のある画家のひとりでしょう。私も教科書や美術書などで興味を持ち、その後、実物の絵を見て、また書簡集を読むなどしてゴッホの魅力にハマり、展覧会があるときは万難を排して観に行きます。観に行くというより、ゴッホの魂に触れに行く、という感じです。2005年にはオランダで開催された学会に後輩の共同演者（かばん持ち）として同行し、念願のゴッホ美術館に行きました。ゴッホ美術館はまさにゴッホ一色で、その強烈な色彩の重なり、激しいうねり、盛り上がる筆致…。ゴッホの鮮烈な作品に圧倒されました。

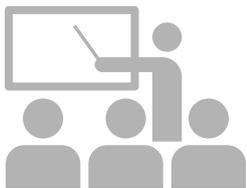
ゴッホほど孤独で、寂しく、苦しい人生を送った画家も少ないと思います。強烈な承認欲求がありながら、精魂込めた絵は売れず、真の理解者も実弟だけです。一人の孤独な天才が、自己の内面や情念を激しく見つめ、精神を病みながらも最高の作品を生み出そうと努力し描き続けた作品群は、まさに人類の宝物です。また、ゴッホの生涯にはミステリアスなことが多く、あれだけの絵が評価されなかったことや、“耳切り事件”におけるゴーギャン、死因も自殺ではなく他殺や事故説などがあり、さらに驚いたことに“ゴッホ色盲説”まであります。実物の作品の鑑賞に加え、様々な角度からの新しい解釈や評論または映画、さらにミステリー化された小説まで、ゴッホには尽きない話題がありますね。

(12月10日)

INFORMATION

行事などのお知らせ

お気軽に
ご参加ください



●第21回地域医療連携症例検討会 『神経内科・脳神経外科領域疾患の 診断と治療の連携』

日時：2022年1月12日(水)
19:00～20:30

場所：WEB及び

高崎総合医療センター 2階大会議室

演者：神経内科部長 平柳 公利

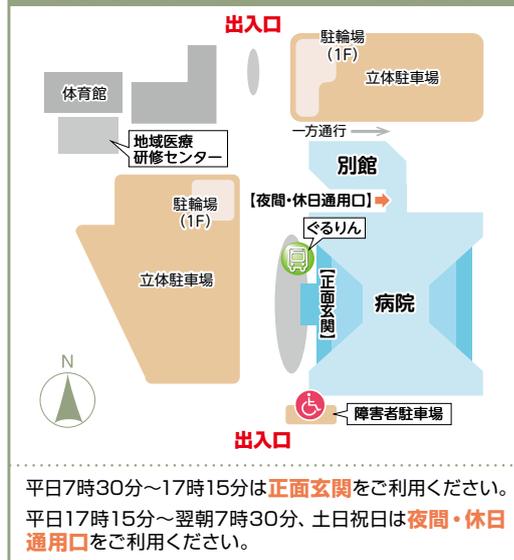
脳神経外科部長 笹口 修男 他

対象：医師等医療従事者

※申し込み必要



高崎総合医療センター案内図



編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

独立行政法人・国立病院機構
高崎総合医療センター